

2009年10月15日
株式会社アップデート
MMD研究所(モバイルマーケティングデータ研究所)

携帯電話の料金プラン・割引サービスに関する実態調査

これから携帯電話会社を選ぶにあたり、最も重視するのは「料金プラン・割引サービス」 50%

通話無料サービスで「21:00～25:00の通話は有料であること」に不満を感じている人 64%

Eメール無料サービスで「携帯会社が違う場合、有料になること」に不満を感じている人 54%

MMD 研究所(モバイルマーケティングデータ研究所)では「携帯電話の料金プラン・割引サービスに関する実態調査」を実施致しました。調査期間は 2009 年 9 月 30 日から 10 月 12 日の 13 日間、553 人から有効回答を得ました。

【調査結果サマリー】

- 1 : 今後携帯電話会社を選ぶにあたり、最も重視するのは「料金プラン・割引サービス」 約 5 割。
- 2 : ゆっくり長めの電話をかけたい時間帯は「21:00～22:00」がトップ。
約 5 割以上が「20:00～25:00」の夜帯を選択。
- 3 : 通話無料サービスで、「21:00～25:00 の通話は有料であること」に不満を感じている人 約 6 割。
ゆっくり長めの電話をかけたい時間帯が、有料であることに不満を感じている人が多い事実が明らかに。
- 4 : E メール無料サービスで、「携帯会社が違う場合、有料になること」に不満を感じている人 約 5 割。

1:これから携帯電話会社を選ぶにあたり、最も重視するのは「料金プラン・割引サービス」 約 5 割

Q:これから携帯電話会社を選ぶにあたり、最も重視する点を一つ選択してください

・料金プラン・割引サービス 50%

・携帯端末(機能) 23%

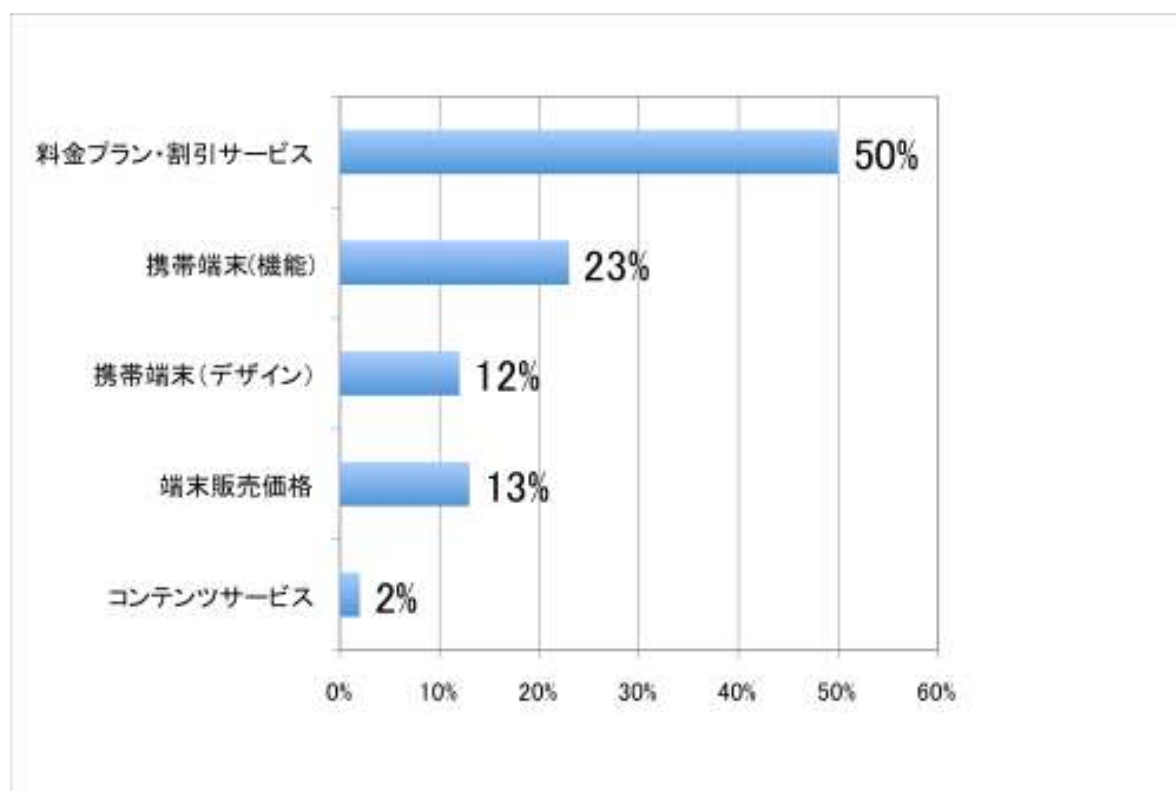
・携帯端末(デザイン) 12%

・端末販売価格 13%

・コンテンツサービス 2%

これから携帯電話会社を選ぶにあたり、重視する点について調査したところ、端末機能や端末デザインよりも「料金プラン・割引サービス」という回答が最も多い結果となった。

■これから携帯電話会社を選ぶにあたり、最も重視する点を一つ選択してください

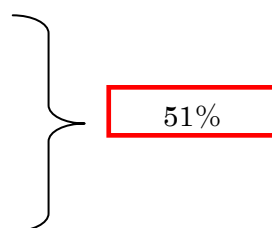


2: ゆっくり長めの電話をかけたい時間帯は「21:00～22:00」がトップ

約 5 割以上が「20:00～25:00」の夜帯を選択。

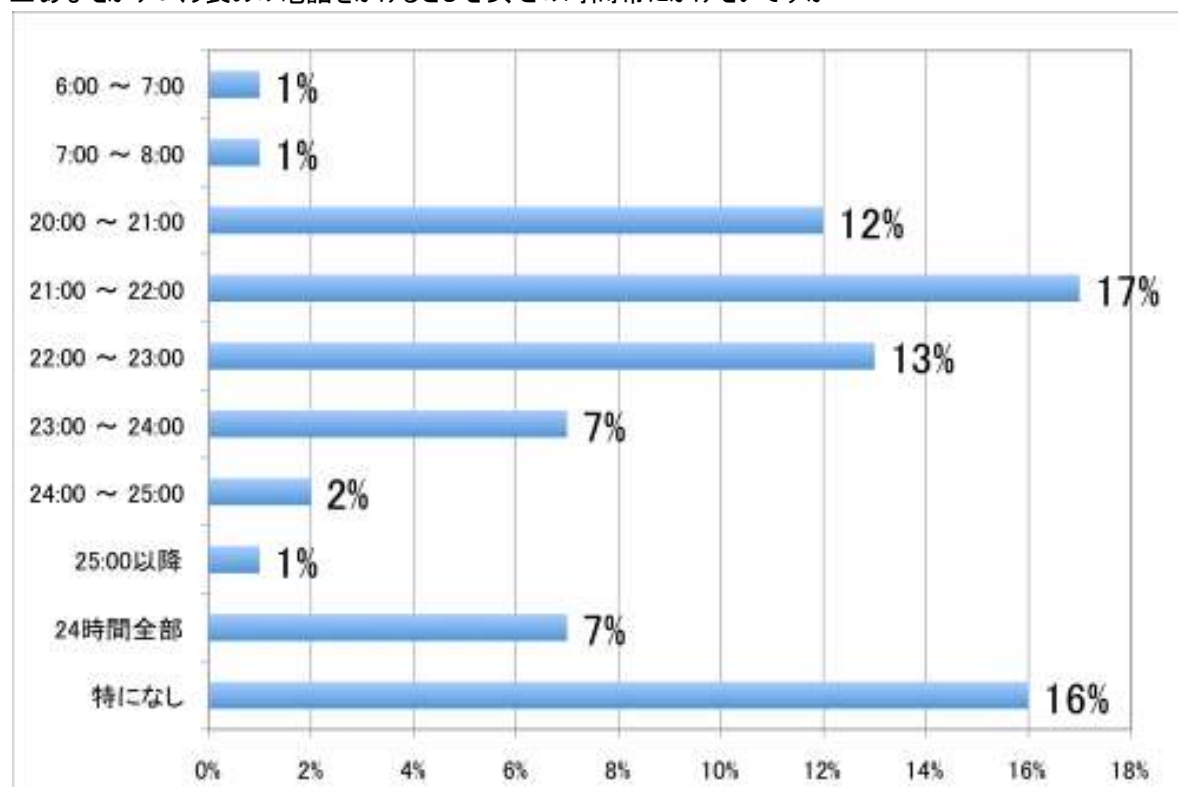
Q:あなたがゆっくり長めの電話をかけるとしたら、どの時間帯にかけたいですか(実態ではなく、意向をお答えください)

・6:00 ～ 7:00	1%
・7:00 ～ 8:00	1%
・	
・	
・20:00 ～ 21:00	12%
・ 21:00 ～ 22:00	17%
・22:00 ～ 23:00	13%
・23:00 ～ 24:00	7%
・24:00 ～ 25:00	2%
・25:00 以降	1%
・24 時間全部	7%
・特になし	16%



ゆっくり長めの電話をかけたい時間帯について調査をおこなったところ、次のような結果となった。最も回答が多かったのが「21:00～22:00」で 17%、次いで「22:00～23:00」で 13%という結果となった。全体的に、20:00～25:00 にゆっくりかけたいという人が多く、全体の 51%を占めた。

■あなたがゆっくり長めの電話をかけるとしたら、どの時間帯にかけたいですか



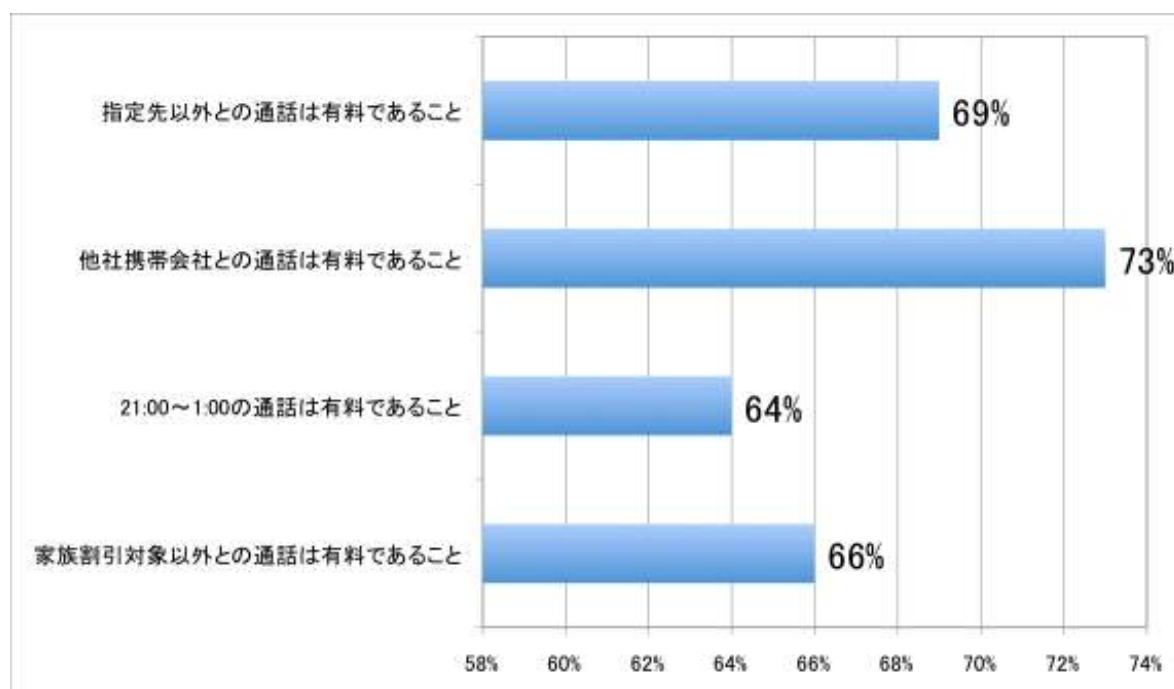
3: 通話無料サービスで、「21:00～25:00の通話は有料であること」に不満を感じている人が約6割
ゆっくり長めの電話をかけたい時間帯が、有料であることに不満を感じている人が多い事実が明らかに。

Q: 携帯電話各社の通話無料サービスについて、以下の制限はどの程度気になりますか？（「非常に気になる」「気になる」「あまり気にならない」「全く気にならない」から選択。その中で、「非常に気になる」「気になる」を選択した人の割合）

- ・指定先以外との通話は有料であること 69%
- ・他社携帯会社との通話は有料であること 73%
- ・**21:00～25:00の通話は有料であること 64%**
- ・家族割引対象以外との通話は有料であること 66%

携帯電話各社の通話無料サービスの制限について調査を行ったところ、次のような結果となった。最も回答が多かったのは、「他社携帯会社との通話は有料であること」で、73%にのぼった。一方で、ゆっくり長めの電話をかけたい時間帯が有料であることに、64%もの人が不満を感じているという結果となった。

■携帯電話各社の通話無料サービスについて、以下の制限はどの程度気になりますか？



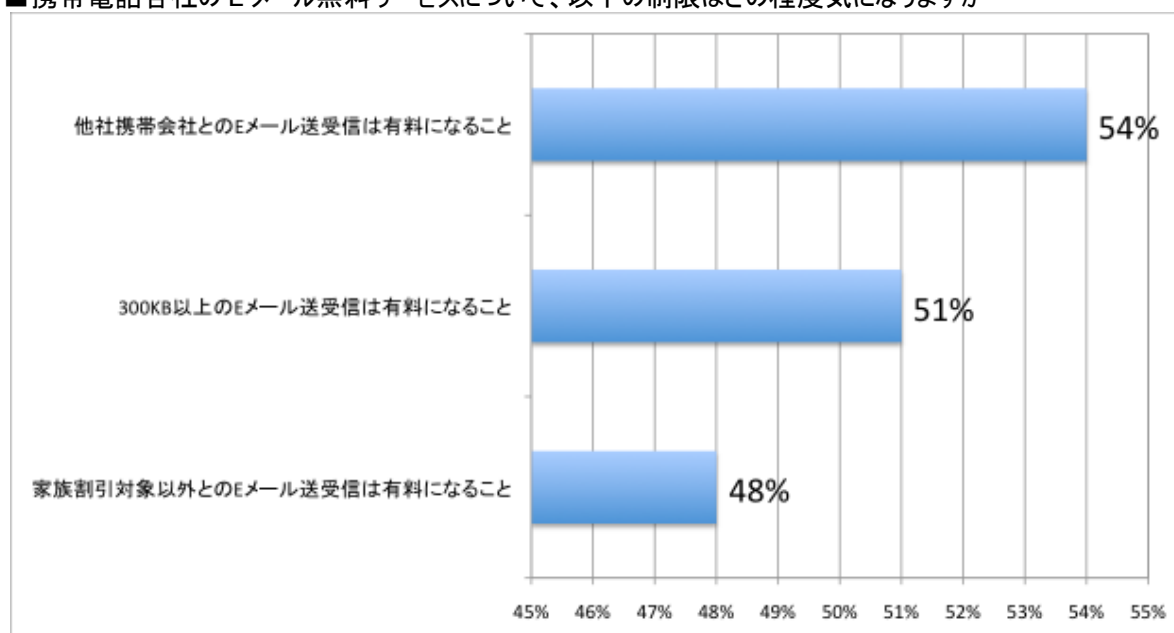
4: Eメール無料サービスで、「携帯会社が違う場合、有料になること」に不満がある人約 5 割

Q: 携帯電話各社の E メール無料サービスについて、以下の制限はどの程度気になりますか(「非常に気になる」「気になる」「あまり気にならない」「全く気にならない」から選択。その中で、「非常に気になる」「気になる」を選択した人の割合)

- ・他社携帯会社との E メール送受信は有料になること 54%
- ・300KB 以上の E メール送受信は有料になること 51%
- ・家族割引対象以外との E メール送受信は有料になること 48%

携帯電話各社の E メール無料サービスの制限について調査したところ、次のような結果となった。「他社携帯会社との E メール送受信は有料になること」、「300KB 以上の E メール送受信は有料になること」に対する回答がそれぞれ 54%、51%と高い結果となった。

■ 携帯電話各社の E メール無料サービスについて、以下の制限はどの程度気になりますか



※ リサーチ協力メディア

- ・モッピー
- ・フォレストページ
- ・モンキータウン
- ・みんなの絵文字
- ・幻創文庫
- ・ピーカチ SNS
- ・タダ電コム
- ・着メロドットコム
- ・ひまクリ
- ・みんなの恋愛相談
- ・MMD
- ・aimew

株式会社 アップデート <http://www.up-date.ne.jp>

マーケティング事業部/MMD研究所

〒150-0011 東京都渋谷区東 3-25-11 TANGO33BUILDING 4F

【本件に関するお問い合わせ先】

(株)アンティル内 在原・石原 TEL:03-5572-6061